

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市藤白台1丁目計画	階数	地上5F
建設地	大阪府吹田市藤白台1丁目	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地区	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2019年3月25日
敷地面積	1,925 m ²	作成者	中尾礼太
建築面積	838 m ²	確認日	2019年3月25日
延床面積	3,102 m ²	確認者	竹内拓也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 69%
③上記+②以外の 69%
④上記+ 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.6
Q2 サービス性能: 2.8
Q3 室外環境(敷地内): 2.7
LR1 エネルギー: 4.2
LR2 資源・マテリアル: 3.2
LR3 敷地外環境: 3.4

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 敷地境界線への緑化を積極的に行うことで、良好な市街地形成を目指す。 外壁の色について、落ち着いた色彩のものを採用することで周囲の環境に溶け込むよう設計している。		その他 工事現場内外問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行います。 建設発生土は現地で埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制します。
Q1 室内環境 内装仕上げについては、F☆☆☆☆を使用し、24時間換気とすることでホルムアルデヒドの発散を抑えた室内環境としている。	Q2 サービス性能 アプローチ部分には急勾配のスロープを設けず、高齢者に配慮したバリアフリーとしている。	Q3 室外環境(敷地内) 保水性インターロッキングブロックをプレロットに採用することにより、地表面の高温化を抑制する。
LR1 エネルギー 住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級4を取得することにより、省エネルギー性を考慮した計画としている。	LR2 資源・マテリアル 一部灰溶融スラグ入りインターロッキングブロックの採用する。	LR3 敷地外環境 工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0163

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	吹田市藤白台1丁目計画						
		建設地	大阪府吹田市藤白台1丁目						
		用途/区分	集合住宅						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A		
①	CO2削減					4			
②	みどり・ヒート アイランド対策					3			
③	建物の断熱性					4			
④	エネルギー削減					5			
⑤	自然エネルギー直接利用					○			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.2	4		
②	みどり・ヒートアイランド対策								
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	—		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									